

釣天狗たち、雨の中10時間ねばり格闘

6月13日
三島湖

日刊 動労千葉

83. 6. 16
No.1366

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)〇四七二(22)七二〇七

三里塚の仲間も参加して ヘラ鮒つり大会を開催

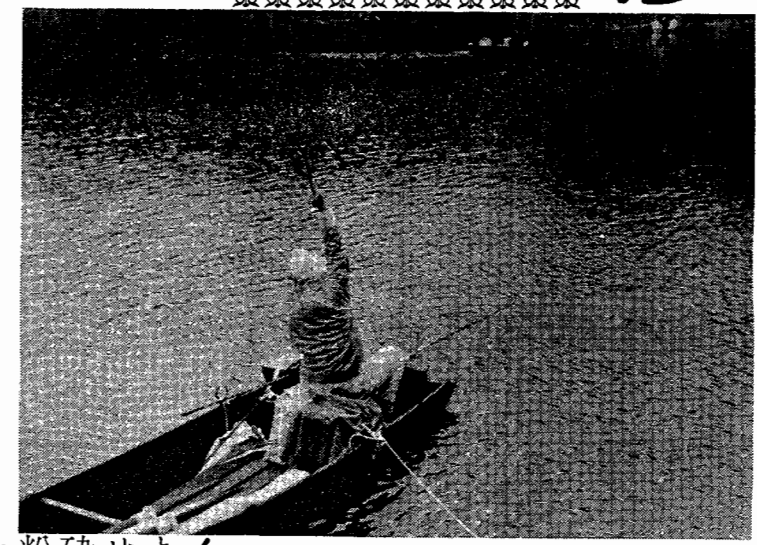
動労千葉サークル協主催の第四回ヘラ鮒つり大会は、去る六月十三日、君津市・三島湖において開催されました。このつり大会には、準備を担当した成田支部から十一名が参加したのをはじめ、各支部から二十五名が参加しました。特に、三里塚反対同盟から本部役員の秋葉さんをはじめ竜崎さん、朝田さんの三名が参加し、また佐倉支部からはOB会員も参加し、動労千葉との連帯と親睦を深め合うことができました。

延々十時間に及ぶヘラ鮒つり大会

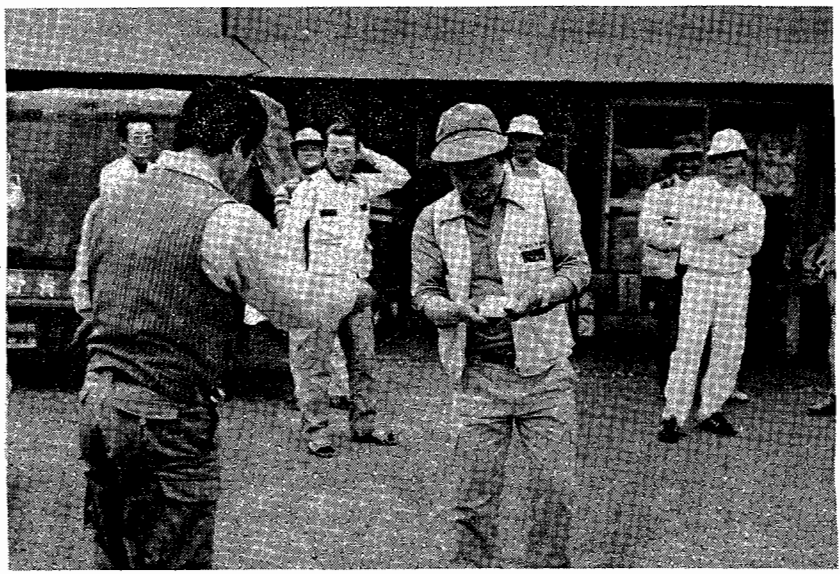
あいにくの前日からの雨模様の中を、集合場所である三島湖・房総ロッヂにまだ薄暗い午前四時、参加者が続々と集合。房総ロッヂの中は午前四時にもかかわらず、動労千葉以外のつり客もすでに多勢つめかけてにぎわっている。

そのうち、おもいおみのポイントで一刻も早くつり糸を垂れようとポイント乗り場に次々と出かけていく。みんな「三度のメシよりもヘラ鮒つりが好き」で、あいにくの雨なぞ全く意にも介さないといった様子である。

次第に夜が明け白らんでくるにしたがって、雨足が強くなり、湖上を吹き抜ける風も強くなって



「ヤッター!」: 36cmの「大物」?



参加者全員で表彰式。笑顔と拍手、ひとしきり話しに花がさく。

くる。参加者は自分のポイントにボートを乗り付け、そのポイントを岸にロープでつなぎ止める。

ロッヂから見渡す湖上には、赤、青、黄など様々な色模様のパラソルを広げたボートが岸边に浮かび、水の青さと緑の山の間で揺れ動く。ヘラ鮒との十時間に及ぶ格闘が始まった。

後藤さん(成田支部)が優勝

早期五時ごろより、十時間に及ぶつり大会も、午後三時で終了。大小様々な戦果を片手に、次々とボートを棧橋に乗りつける。

ただちに棧橋上で検量が始まる。

「〇〇さん四K五百」「〇〇さん七K五百」と、ハカリの目盛りが読みあげられるたびに、「オー」「ヤッター」の声があがる。

いよいよ三時半よりロッヂ前広場で、本部サークル担当・林特執より、あいさつと成績発表、表彰が行われ、反対同盟より参加した秋葉さん、朝田さん、準備を担当した成田支部の中島さんからそれぞれあいさつをうけて、ヘラ鮒つり大会を終了しました。

ヘラ鮒つり大会成績

- 優勝 八・四 後藤 明 (成田支部)
- 二位 八・四 鈴木三男 (同)
- 三位 七・五 秋葉 義光 (反対同盟)
- 四位 五・五 石橋 正二 (成田支部)
- 五位 五・二 久保庭 幸平 (同)
- 大物賞 三六 Cm (同)
- B賞 実倉 康二 (佐倉支部)
- B賞 (同)